

直政の子で2代彦根藩主である直孝も父に続き、大坂夏の陣で功績をあげ、井伊家は5万石の加増を受け、直孝は従四位下・侍従へ昇格した。また、吉良家のゆかりの寺「弘徳院」を、井伊家菩提寺として伽藍を創建、直孝の法名「久昌院殿 豪徳天英大居士」にちなみ「豪徳寺」と改名し繁栄させた。

井伊直政は徳川家康から厚い信頼を得て、関ヶ原の戦いの後、彦根藩を拝領。江戸城の近くには、上中屋敷(現在の千代田区永田町)と菩提寺として豪徳寺(現在の世田谷区)を得ている。家康は江戸の統治を円滑に進めるため、これまで従えていた勢力を積極的に取り込んだと伝えられており、武家町だけでなく、町人町についても、居住者の大部分が三河、遠江、駿河など家康の旧領地から移り住んだ人々であり、町屋敷を与えられて江戸町人の上層部を形成していったと村井益男氏(元東京大学史料編纂所教授)は記している。(出典「日本生活文化史第5巻」河出書房新社刊所収)。また、由緒書のなかに幕府御用達の職人たちも「三河以来」とか「権現様御入国のおり、お供つかまつり」などの記載が見られ、三河、遠江、駿河の人々が多く関わってきたことを物語っている。

## 直政から直孝へ 大都市江戸の形成に 大きく関与



江戸のルーツは「浜松」にあったんじゃないかな。



ちよこつと豆知識

### なぜ徳川家康は「江戸」に幕府を開いたの？

関東を手中に取めた家康は、かつて幕府の中心地だった「鎌倉」ではなく、未開の「江戸」を拠点とした。遠浅の海、利根川などの河川、交差する街道を整備すれば、軍事・政治・商業に都合が良く、発展させることができると考えたからだろう。家康が江戸幕府を開いてから大政奉還まで265年間にわたり、幕府の中心地として栄え、現代にまで至るのだから、さすが先見の明の持ち主である。

直孝は將軍徳川家光の後見役を任せ、江戸を離れることなく將軍家光・家綱を補佐したと伝えられている。家光・家綱の治世は、まさに江戸時代の社会や制度が確立した時期であり、直孝の江戸への貢献度は非常に高い。その後、井伊家は譜代大名の筆頭となり、幕府の大老や老中など重責を担っていった。

# 近代日本の礎を築いた 井伊家のバトン

大河ドラマ「おんな城主 直虎」の放送をきっかけとして、今や「井伊直虎」の名は全国区となったが、歴史上の人物で「井伊」と言えば、徳川四天王の一人である「井伊直政」や、その子孫で江戸幕府の大老として、開国のきっかけを作った「井伊直弼」が有名だ。知勇兼備・文武両道を貫いたこの2人なくして今の日本は語れないと言っても過言ではないだろう。



Naotora  
井伊直虎

## 直虎から直政へ 家康の天下統一に貢献

直虎から井伊家再興への願いを受け継ぎ、若くして戦国の世を駆け上がった直政。徳川四天王の筆頭として実直に家康を支え、天下統一に重要な役割を果たした勇将である。直政は、天正12年(1584)の小牧・長久手の戦いなどで武功をあげ、後に「井伊の赤鬼」として恐れられ、百戦錬磨の活躍を見せる。天正18年(1590)の小田原の陣では、難攻不落の小田原城内に攻め込んだ唯一の武将としてその名を轟かせた。慶長5年(1600)の関ヶ原の戦いでも東軍の中心的存在として勝利に貢献。さらに直政は高い戦闘力だけでなく政治力にも長け、諸大名の統括や調略、交渉でも功績を残している。家康が関東へ移った際、直政が家臣の中で最も多い高崎12万石を拝

ちよこつと豆知識

### 家康に目をかけられていた直政

徳川家康は自分の幼名「竹千代」にちなみ、直政(虎松)に「万千代」という名を与えた。万千代は大久保忠世の陣中に招かれた際、芋汁がまずかったため「醤油がほしい」と言ってしまう。これに対し忠世は「兵士たちはこのようなものすら満足に食べられない。この味を忘れるな。」と諭した。この言葉に感銘を受けた万千代はその後自らを律し、周囲の信頼を得て、出世の道を駆け上がっていったのだ。

領したことは、家康が直政をいかに信頼していたかを物語っている。家康が天下統一を成し遂げ、江戸幕府を開くに至ったのは、文武両道に秀でた井伊直政の活躍が大きく影響したといえるだろう。

井伊家菩提寺 ■井伊谷の龍潭寺：奈良時代に行基によって開創されたとされる遠州の古刹。直盛の娘(直虎)が出家し「次郎法師」の名を与えられ修業をした場所。 ■彦根の龍潭寺：井伊直政が佐和山城主となった際、井伊谷の龍潭寺を分寺し、龍潭寺の5世住職である吳天禅師を招いて建立。 ■世田谷区の豪徳寺：世田谷領が彦根藩の管轄になった際、彦根藩主の井伊直孝が井伊家菩提寺として伽藍を創建し整備。



豪徳寺

直孝が鷹狩りの帰り道、古い寺の前を通りかかった際、猫に手招きをされ寺の中に入ると、その直後雷雨に。「猫が招いてくれたおかげで濡れずにすんだ!」と喜び、直孝の寄進により改築され井伊家の菩提寺になったと伝えられている。(諸説あり) 猫の手招きが寺を栄えさせてくれたと感謝した住職は「招福殿」を建てたと伝えられており、今では驚くほど多くの招き猫が奉納されている。



### 東京の「浜松町」は浜松市が起源

ちよこつと豆知識

徳川家の菩提寺である増上寺がある門前町「浜松町」は、増上寺の代官であった町の名主の名前から「久右衛門町」と称されていた。しかし、元禄9年(1696)に権兵衛という遠州浜松の生まれだった人物が名主を務めることになり、「浜松町」と改名されたと伝えられている。

増上寺 東京芝大門にある浄土宗大本山。増上寺は600年の歴史をもち、天正18年(1590)、家康公が当時の住職源普存上人に深く帰依したため、徳川家の菩提寺となる。慶長3年(1598)には江戸貝塚(平河町)から現在の芝の地に移転。江戸幕府成立後も、家康公の手厚い保護もあり増上寺は繁栄していったと伝わる。

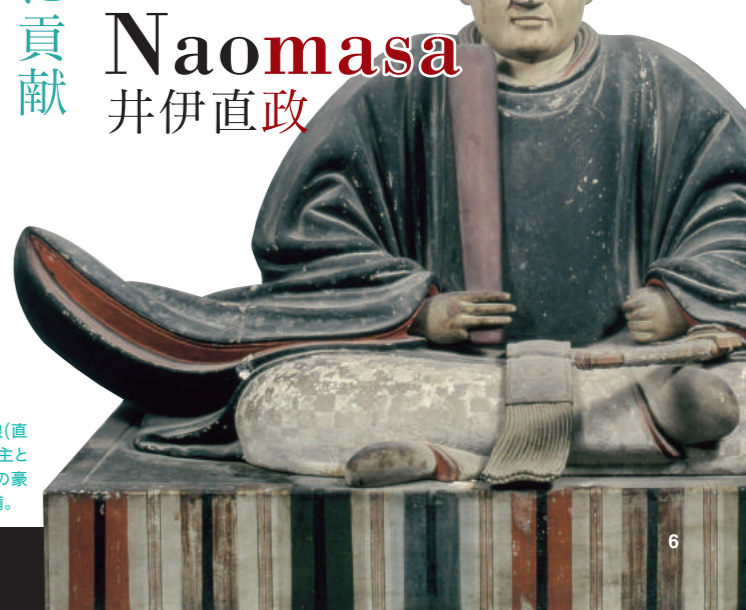


写真提供：増上寺

## Naotaka 井伊直孝



朱漆塗燻韋威縫延腰取二枚扇具足彦根城博物館所蔵画像提供：彦根城博物館/DNPpartcom



Naomasa  
井伊直政